



# AJU 愛実

## 第37号 会報

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実  
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

定価：一部100円

「協力、人生は協力だよ!」／島しづ子	・P1
2016年度法人事業報告	・P2
会計報告（活動計算書）	・P3
認定NPO法人取得に向けて	・P4
大地の家のページ	・P5～7
紙風船のページ	・P8～10
「役に立っている自分」、その誇りが心を立て直す／南 寿樹	・P11
10周年記念講演アシスタント感想	・P12
フルーツ&ピアノ リサイタル案内	・P13
寄付者名簿	・P14



日本福音ルーテル復活教会公演  
／紙風船

ミツカンミュージアム  
／大地の家



## 「協力、人生は協力だよ！」

理事長 島 しづ子

私の口癖は「協力してね！」。10年以上前から日曜日の礼拝が始まる前に、礼拝中大声をだすメンバー達に「今から礼拝だから協力してね。讃美歌の時は声出していいから」とお願いしてきた。礼拝中、急に大きな声が響くと説教中の私は困惑して「あれ？今何話していたっけ？」状態になるし、奏楽者も「頭の中が白くなってしまう」と言っていた。それで、「声を出したいだろうけど、こちらに寄り添ってもらえませんか」という意味で「協力して下さいませんか」とお願いした。いつからか、協力してくれて、礼拝中よく話を聴いてくれるようになった。たまに大声で何かを訴えることもあるが、担当アシスタントが対応しているし、他の参加者はそれを自然に受けとめている。

最近このような礼拝の在り方について、参加者の一人がこう語った。「ここはいいところです。島さんがKさんに礼拝前に『協力して下さいね』と言っている。普通だったら『うるさい、黙れ！』と怒鳴るのに、島さんはそうしないし、Kさんも協力している。」それを聞いて、「あれ？私はどうしてこの言葉を使ってきたのだろうか？」と考えた。

他の場面でも、他のメンバーたちが自己主張を続けて、アシスタントの都合に合わせてくれないことがある。実はこれこそ、いいことなのだ。なぜなら、私たちはメンバーを、支援する者にとって都合のいい「かわいい障がい者」にしたくなかったからだ。メンバーがあきらめないで、自分の思いを主張することこそ、会が願ってきたことだから。とはいえ、時間が迫っていたり、全体との兼ね合い、アシスタントの事情もあればこそ、「協力して下さい」となる。それはこんなニュアンスかも知れない。

「Kさん、KさんにはKさんの思い、願いがあるでしょうが、私にも他の人たちとの関係、事情があります。ここは譲歩して下さいって協力して頂けませんか？」これは対等な関係の中で譲歩をお願いするということだと思う。

今まで、孫を叱りとばしていたが、反抗期に入ってあまり効果が無いので戦術を変えてみた。「おばあちゃんに協力してくれない。」と語りかけるようにした。効果抜群である。「もう出かせないといけないと思うんだけど、時間大丈夫かな？」とか、「おばあちゃんはわからないから、自分で忘れ物無いようにしてね」と。

時々、わがまま一杯の人に付き合っ、「やってらんない」って思うこともある。そんな時自分に言う。「協力、協力、人生は協力」と。すると無駄に我慢させられているんじゃないじゃなくて、相手の方に寄り添っているんだというような気持ちで、無力感ではない何かを与えられる。よくよく考えたら、メンバーの方が数百倍も思うようにならない日々を忍耐して生きているのだ。そのこと忘れずに協力し合って生きたいと思う。



## 2016年度 法人事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しながらより良いサポートを目指し下記の事業に取り組んでいます。

- ① 生活介護事業 障がい者デイセンター愛実 (大地の家・紙風船)
- ② 居宅介護事業 居宅介護事業所あみ (ホームヘルプ)
- ③ 法人独自サービス事業 (緊急時対応有料サービス)

### ★生活介護事業について メンバー数 30名(2017年3月31日現在)

- ・大地の家(17名)「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられる取り組みを実施。メンバーの思いを汲み取り、寄り添える関係作りを大切にしてきました。
- ・紙風船(13名) テーマ「楽しく元気に出かけよう・ふれあいつながり大切に・心からの笑顔を広げよう」を目標に人形劇公演活動(17回)を実施。人形劇団紙風船としては設立20周年を迎えて、感謝祭や記念チャリティー公演など大きなイベントを開催しました。

### ★居宅介護及び移動支援事業について

- ・メンバー及び家族の必要なニーズを受け、出来る限りのサービス提供を行って来ましたが、人材確保が困難なため今年度も減少傾向が続いた。(月平均利用41件→33件)今後、他事業所との連携を図りながらメンバーの地域生活を支えていくために重点課題として取り組んでいきます。

### ★独自サービス事業について

- ・主に緊急時の対応として今年度は7件のケースに対してサービスを提供しました。制度で対応できない部分をつなぎ、今後も出来る限りの対応を考えていきます。

### ★研修について

- ・4月29日全体研修会：テーマ「障がい者に寄り添うとは」ワークショップ。講演「共に生きる支え手」市江由紀子さんによる講演会。
- ・法人10周年記念研修旅行を実施 10月30日～11月3日 参加20名

### ★ボランティアの受け入れ

- ・南山幼稚園ミュージックベル、ホールイベント、紙風船サークル及び人形劇公演、交流会等

### ★寄付等について

- ・チャリティーウォークソン：15万円(法人10周年イベント)
- ・公益信託キャンドル演劇奨励基金：30万円(紙風船20周年イベント)
- ・目標額320万→寄付金約340万
- ・その他 非常通報装置の設置 名古屋市補助307,000円

### ★法人正会員の状況

会員数47名 (2016年3月31日現在)  
(内訳：メンバー家族25名 アシスタント15名 協力者4名 理事3名)

### ★2016年度会計の状況

予算112,426,000円 に対して決算110,203,056円 経常利益：786,906円  
借入金返済550万 (2017年度残り320万で借入金は完済します)



## 活動計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	金 額		単位:円
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	99,000	99,000	
2. 受取寄附金			
寄附金	2,920,475		
夢づくり	513,953		
受取寄附金計	3,434,428	3,434,428	
3. 事業収益			
1)生活介護事業収益	103,049,892		
生活介護事業	100,176,703		
食事収入	2,339,060		
就労支援事業収入	534,129		
2)居宅介護事業収益	2,763,765		
3)独自サービス事業収益	10,500		
5. その他の収益		105,824,157	
雑収益	845,471	845,471	
経常収益計			110,203,056
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	61,560,767		
法定福利費	7,606,336		
人件費計	69,167,103		
(2)その他経費	36,802,097		
事業費計		105,969,200	
2. 管理費			
(1)人件費	2,600,000		
(2)その他経費	778,450		
管理費計		3,378,450	
経常費用計			109,347,650
当期経常増減額			855,406
法人税、住民税及び事業税			68,500
当期正味財産増減額			786,906
前期繰越正味財産額			58,861,159
次期繰越正味財産額			59,648,065

※ 貸借対照表はWeb：内閣府NPO法人ポータルサイトより、「愛実の会」検索にて閲覧することが出来ます。  
 皆様から頂いた寄付金は、① 建物改修費借入金返済 ② 非常通報装置の設置 ③ 法人10周年イベント  
 ④ 人形劇団紙風船夢づくり(人形制作費・20周年記念公演)のために活用させていただきました。



## ★ 認定NPO法人取得に向けて

先日開催された愛実の会の総会にて認定NPO法人へのGO！サインが全会一致で承認されました。このことを受けて今年度中の認証を目標に準備を進めています。

「認定NPO法人」とは、NPO法人のうち「一定の基準を満たしている」と所轄庁（都道府県・政令市）が認めた法人 のことです。NPO法人が比較的形式的に「公益性ある団体であるか」を判定して認証されているのに対し、認定NPO法人はより高い税制優遇を適用するために「より客観的な基準において、高い公益性をもっている」ことを判定された法人であるということです。

### 「認定NPO法人」の審査基準

- ・広く一般から支持を受けているか（パブリックサポートテスト=PSTをクリアしていること）
- ・その活動や組織運営が適正におこなわれているか（一定の基準をみたしていること）
- ・より多くの情報公開が行われているか（事業報告書・貸借対照表の公告）

### 《認定NPO法人の「税制優遇」4大メリット！》

1. 個人が認定NPO法人に寄付をした場合 →「寄付金控除」を受けられます  
NPO法人では「寄付金控除」制度が適用されませんでした。認定NPOの場合は確定申告をすることで、税金の還付を受けることができます。最大で寄付額の50%、所得税・住民税が減税されます。  
例)1万円寄付  $(1万円 - 2,000円) \times 50\% = 4,000円$ が減税
2. 法人が寄付をした場合 → 損金に算入できる金額が拡大されます  
特別損金算入額  $(資本金等の額 \times 0.25\% + 所得金額 \times 5\%) \times 50\%$
3. 相続人が相続財産を寄付した場合 → 寄付をした相続財産は相続税が非課税  
例:1億円の相続財産があった場合、うち5千万円を認定NPO法人に寄付  
→ 相続税の課税対象額は「5千万円」になります
4. 認定NPO法人自身が法人税法上の収益事業を行った場合  
→「みなし寄付金制度」による減税措置を利用できます  
控除上限額は、「所得の50%」か「200万円」のいずれか高い方に拡充されました

### PST 《絶対条件:年間3,000円×100人の寄付者》

毎年、年間で3000円以上の寄付者を100人以上(団体や法人もOK)確保する必要があります。PSTのカウントは年に複数回の寄付があっても3000円以上で1カウントとなります。年に3000円未満の場合はカウントされません。また、生計を一つにする家族の場合も1カウントまでとなります。現在、愛実の会ではPST条件を一応クリアしてはいますが、年々減少傾向にあるため、今後は更に寄付者の輪を広げて行けることを目指しています。



# 大地の家のページ

(P5~7)

## お出掛け

5月に津島の天王川公園へ藤の花見、

6月には半田にあるミツカンミュージアム見学に行ってきました！

### 藤の花見



公園の一角に、長く続く藤の花の下を歩く道が作られていました。見上げると風にユラユラ揺れる藤が一面に広がり、視界は綺麗な薄紫色で埋め尽くされました。

暑いぐらいの快晴でしたが、藤の葉と花が丁度良く日差しを遮り、涼やかに過ごすことが出来ました。途中で藤が途切れる箇所があり、そこに辿りつくともメンバーもアシスタントも初夏と思えるほどの暑さを思い出しました。

日に照らされ、光り輝くような不思議な色合いを放つ藤の花をメンバーたちもじっと見つめ、花見を楽しんでいるようでした。

施設の老朽化により、リニューアルオープンしたミツカンミュージアムは、ミツカンで作られている酢や納豆などを楽しんで知ることができる見学施設でした。

### ミツカンミュージアム

江戸時代に使っていた、尾張から江戸まで酢を運ぶための船の巨大レプリカがあったり、音や光のプロジェクトンマッピングで酢の歴史を映し出したりと、迫力満点の仕掛けにメンバーも釘づけ。

大きな画面を見ながら体操ができたり、紙粘土で寿司を作ってみたりとメンバーが体験できるものも多くありました。

最後にメンバーの顔写真のラベルで世界に1つだけの味ボンを作りました。





## 感謝の気持ちを込めて、プレゼント作りをしました

### 母の日企画



母の日企画では、アロマで香り付けした石鹼を土台に造花を飾り、目でも鼻でも楽しめる置物を作りました。

アロマはたくさん種類のある中で、「この香りが好き！でも違う香りも気になる・・・」なんてアシスタントと相談しながらメンバー達が1番好きな香りをじっくり選びました。

熱で柔らかくした固形石鹼をビニール袋に入れ、手で揉みながら土台になるように成形する場面では、不思議な感触に楽しげに笑ったり、首を傾げたりするメンバーもいました。

最後のラッピングでも、どのリボンで飾れば似合うのか、テープは何色にしようかなど、時間ギリギリまで悩むメンバーも多かったです。しかしその分、気持ちの込められたプレゼントができたと思います。

父の日企画はメッセージカード作りをしました。牛乳パックを使ったエコペーパー作りから始まり、出来上がったエコペーパーをさらに加工してワイシャツ型のメッセージカードを作りました。

大地のメンバーにとってエコペーパー作りは久しぶりで、なかなか手順を思い出すのに時間が掛かりましたが、紙を細かく砕く工程ではミキサーを自在に使いこなしていました。

乾いたエコペーパーをワイシャツの形にハサミで切り、手に取ると香りがするようにアロマオイルを吹き付けて完成です。

メッセージカードにはメンバー思い思いの言葉を添え、日頃の感謝の気持ちを乗せました。

### 父の日企画







## 音楽活動



大地の家ではアシスタントによる「音楽隊」や「この音なんだろう？」という音楽の活動などを行っています。

「音楽隊」では、季節に因んだ歌をうたったり、リズムに合わせて身体を動かしたりします。その他にも、活動の始まりには「あなたのお名前は？」という歌を「あなたのお名前は？——〇〇です！」とメンバーが1人ずつ歌ったり、好きな楽器を選びそれぞれ曲を演奏したりと、メンバーそれぞれが活躍できる場を作っています。

6月には「カエルのうた」、「かたつむり」など「梅雨」をイメージした曲を中心に活動しました。「カエルのうた」ではグループを分け、輪唱に挑戦しました。他のグループにつられないように歌うのは意外と難しく、メンバー達は大きな声で対抗していました。

メンバーによって好きな楽器も歌もバラバラですが、好きな音や歌が耳に届くと笑顔になる姿を見ると、アシスタント達も自然と笑顔になります。

「この音なんだろう？」とは、見えない位置から音を鳴らしてなんの楽器か当てる活動です。メンバー達には楽器のイラストが描かれたカードを2種類渡し、どちらの楽器が鳴っているかを選んでもらいます。何度も楽器を鳴らしていると、メンバー達もそれが何の楽器か分かってくるようでアシスタントに答えを教えてくださいます。中には、アシスタントが逆だと思っていた答えが実は正解だったこともありました。

前回の活動では、「鈴」か「タンブリン」かで意見が分かれました。答えはタンブリンだったのですが、鳴らし方を「鈴」に似せていたので少し難しかったようです。「鈴かな？でも、タンブリンかも？」なんて会話がメンバーとアシスタントの間で繰り広げられていました。

大地のメンバー達は、音楽が好きな方が多くいます。音が聞こえてくるだけで笑顔になるメンバー、知っている曲が流れると大きな声で歌ってくれる方もいます。メンバー達にとって音楽がもっと楽しく感じてもらえるよう、これからもいろんな活動に挑戦していきたいです。

音楽活動担当アシスタント：U



# 紙風船のページ

(P8~10)

長かった梅雨の季節が過ぎれば、夏のおとすれですね。  
 21年目の紙風船…自分たちの活動についてもう一度振り返ったり見直したりしています。  
 「新しい夢に向かってぼちぼちいこか」紙風船の新年度のサブテーマです！人形劇にもさらに磨きがかかりますように…



## おばらさん講座～人形劇ってなんだろう～

紙風船の人形を製作し、演出なども手がけてくださっているおばらしげる先生。ほぼ毎月一度ご指導をいただいています。大抵は公演が近づいている演目を見てもらうのですが、今回、「人形劇とは何か、これからの紙風船は人形劇にどう取り組んでいくべきか」など、原点ともいえるお話をいただきました。まず人形や人形劇の歴史から始まり、人形の種類や造りについてを改めて勉強しました。実際に先生が作った指人形やあやつり人形を使って人形の気持ちを表現してみる時間もありました。

紙風船の人形劇は、メンバーが人形を操りその後ろをアシスタントが支えて人形に生命(いのち)を吹き込む”三位一体”が特徴です。一つの人形を動かすため、そしてその人形で観ている人に感動を届けるためにはひとりひとりの「やりたい、やってみたい」という気持ちが大切。自分も成長することで新たな夢を実現していこう！21年目を迎え、もう一度スタート地点に立ってみよう！というお話が印象的でした。

これからも、心のもった作品づくりを目指していきたいと思います。先生、ご指導をよろしくお願いします！

指人形に挑戦！



気持ちひとつで表情も変わります！



寄付金111,280円！

～20周年記念公演チャリティー募金のお礼～

ご全被  
 協額災集  
 力寄地ま  
 あ付障っ  
 りい害た  
 がた者付  
 としセ金  
 うまンは  
 ごしたは  
 ざた！く  
 いまもと  
 ました！へ

2017.3.26 於:港文化小劇場





## おめでとうを伝えに・・・



中川区にある老人保健施設「ラベンダー」より、利用者さんのお誕生日会に呼んでいただき4月27日にメンバー、アシスタント3名ずつで参加しました。社協さんから紙風船の事を知り、お声をかけてくださったのです。時間や場所などを考え、今回は人形劇ではなく他の出し物を観ていただくという事になりました。

ところが、会場に着いてみてびっくり！…想像を超える広いフロアーと大勢の方が私たちを待ってくださっていました。

短期間で打ち合わせ練習した、絵本マジックや手遊び「しあわせなら手をたたこう」でみなさんと交流し、「ハッピーバースデー」を生ギターの伴奏と共に歌ってプレゼントを贈呈！最後は全員で「風を下さい」を心を込めて歌いました♪

短い時間でしたが、楽しい時間を共有する事ができました。いつか是非、今度は人形劇の作品をみなさんに観ていただきましょうね！



お誕生日おめでとう



## モリコロパークに初夏の風♪ 5月24日 (水)



長久手のモリコロパークには公演やチャリティーウォークで何度か来たことがあります。そんな、ちょっと懐かしい気分にも浸りながら、今回は初夏の花々も美しい広場を散策をしてきました。鳥や植物に詳しいアシスタントから名前を教わったりしながらのんびりとお散歩♪新しい長久手イオンでのお昼ごはんにも大満足でした！  
ここは近々”ジブリパーク”になるというニュースもありその時にはまたみんなで訪れたいですね♪

ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターで紙風船の活動の様子をご覧くださいませ。

「人形劇団紙風船」をWebで検索！！

人形劇団紙風船





【公演だより】

- 第224回 2017年3月18日 小牧市肢体不自由児・者父母の会 「ポーちゃん」
- 第225回 3月26日 紙風船20周年記念チャリティー公演  
「ボンタとたっくん&ポーちゃん」
- 第226回 5月13日 日本福音ルーテル復活教会 「ボンタとたっくん」
- 第227回 5月20日 愛知県重症心身障害児(者)を守る会主催 「ポーちゃん」

～自分たちで作上げる公演を目指して～

今年度から、新たな目標をメンバー・アシスタントで考え、そこに向かっての話し合いも時々行っています。一つには、自分達で公演を作り上げていこうという目標があります。人形劇以外の出し物や時間割分を考えたり、相手先とのやり取りなどにメンバーも可能な範囲で関わり、公演を創り上げていこうというものです。

5月20日、さっそくあるメンバーを中心とした公演がありました。「愛知県重度心身障害児(者)を守る会」から依頼を受けたのです。紙風船での活躍をぜひみんなに知ってもらいたいと、自分の思いを「講演」としてプログラムに入れました。内容をアシスタントと検討して発声などの練習を重ね、大勢のお客様の前で発表しました。そのしたむきな姿は、観ている方々の心を打ったことでしょう。

また人形劇「ポーちゃん」の公演には、観客の方々に自分たちの思いを伝えようという気持ちがいつ以上に他のメンバーにも入りました。それらが会場の温かい雰囲気と一体となり、大変充実感のある時間となりました。

これからも「メンバーの思いの詰まった公演」を全員で協力して創り上げていきたいと思ひます。

公演も講演も力いっぱい！



ホッと一息♪



【これからの公演予定】

- 2017年 7月25日(火) 港福社会夏休み公演 「ポーちゃん」
  - 8月 4日(金) 放課後デイサービスこのき港校招待公演
  - 8月17日(木) 韓国交流公演
  - 8月27日(日) 北なごやパペットフェスタ 「かめさんのありがとう」
  - 10月 8日(日) ひまわりホールこどもアートフェスティバル  
「ぼくたちにできること」
- 紙風船活動部屋にて



～公演依頼を募集しています～



☆1公演3万～(予算につきましてはご相談に応じます)  
☆各地域のイベントや学校の福祉教育など、目的に合わせたプログラムを組むことができます。お子様から大人の方までみんなで楽しめる、夢と希望と笑顔がいっぱいつまった人形劇を目指しています！

## 「役に立っている自分」、その誇りが心を立て直す

南 寿 樹

高等部1年病弱クラスに大樹（高1）が入ってきた。私が副担任。大樹は中学1年生の1学期から不登校の状態になり、ほとんど家にいたとのこと。クラスは3人。そのうち一人は入院中で入学式には大樹と道夫（心臓疾患）の二人が出席した。張り詰めた空気の入学式が終わり、教室に戻っても、大樹は緊張していた。無理もない。3年ぶりの学校生活だ。

そこで、まずは手品で心をほぐし、スーパーボールバウンドゲームで遊ぼうと思った。椅子に座り、3メートルほど離れたゴミ箱にスーパーボール（直径6cm）を2バウンド以上させて入れるという遊び。横で、担任の恵美先生（2年目）が二人のお母さんと懇談している。

大樹は喘息はあるものの運動制限はない。物足りないかとも思ったが、「なかなか難しい」と言いながら、ちょっとした力の加減で軌道が変わるスーパーボールの動きを楽しんでいる。それだけでなく、動けない道夫のスーパーボールを拾う優しさまで見せる。隣の知的障がいクラスからは「高等部になったのだから、いつまでも遊んでいてはいけません」という声が聞こえてくる・・・。私たちは、かまわず続ける。道夫「やったー、入った」私「すごー、やるじゃん」大樹「クソ～、はずれた」私「クソと言ってはいけません。うんちと言いましょ」3人「ハハハ」お母さんたちも笑っている。（この後、みんなが笑顔の記念写真を大樹のお母さんは、アルバムシートにして、みんなにプレゼントしてくれた。よほど嬉しかったのだろう）

翌日。給食室に向かう途中、突然大樹が走り出した。道夫の車いすを押している私は「廊下は走ってはいけません」と言おうとして、言葉を飲み込んだ。大樹が、給食室の半自動のドアを開け、車いすが通りやすいようにしてくれているのだ。私と恵美先生は顔を見合わせて「すごい」と感動し、私は、「大樹君は、優しいね。よく気がついたね」と声をかけた。

順調な日々。だが、2週目、大樹に登校渋りが出始めた。そして、まだ眠い状態で遅刻登校してきた日、大樹は、いらだちを爆発させた。3限目の音楽の授業。教師の指示に従わず、勝手に歌おうとした道夫に向かって、筆箱を投げつけようとしたのだ。クールダウン（心を静める）の部屋に付き添った私は、大きな体を机に伏せている大樹に、「まあ、そんなときもあるさ」と声をかけた。大樹は何も答えず「うーん」と苦し気に唸る。二人きりの沈黙の時間。そこで私は、相談するように声をかけた。「実は、2限目の体育のとき、まじめな生徒をバカにした優斗（3年生）をど叱ったんだ。先生の声は大きいだろ？ みんな固まって、嫌な雰囲気になっちゃったんだ。みんなに会いづらいな。どうしよう？」。すると大樹はゆっくりと顔をあげ、鼻声で言う。「そんなときもありますよね」（えっ、慰めてくれてる？）。そして、ゆっくりと立ち上がり、「授業に戻ります」と言って、赤い目をして部屋を出ていった。

そして、給食の時間。大樹は半自動ドアを手で押さえ、みんなを通して。「ありがとう」「まるでホテルのドアマンだね」などと他学部の児童生徒、職員が次々と声をかける。（大樹なりに心の立て直し方を考えたんだ）——人波が途切れても、ずっと押さえ続ける大樹。「人は役に立っている自分への誇りを支えにして、心を立て直す」、大樹の姿を見て、私はそう学んだ。

## 「べてるから吹いてくる風に学ぶ」

4月30日に法人10周年記念講演会を行いました。法人利用者・家族・アシスタントを含め総勢150名もの方々がお集まり下さいました。ありがとうございました。

その折のアシスタントの感想文を何回かに分けてご紹介させていただきます。

~~~~~

①今回の講演では、べてるの家で行われている『当事者研究』の活動について学びました。当事者研究とは“自分の言葉”をつかまえることで、具体的には、人は言葉によって生き、受け入れることによって言葉が生きる。特に大切なものは弱さにあり、弱さをまとった言葉を前向きに使う。また、言葉の可能性を信じて自分の中に新しい言葉を作り出していくことが大切であるということです。生きる言葉の大切さを実感しました。

私もメンバーの方やアシスタントの方とお話をする時、生きる言葉を使い、自分のことは客観的に見られるようにして、今後の仕事にいかしていきたいと考えます。

(小久保典子)

②べてるの家は「神の家」とのことである。ここから向谷地先生の開拓精神が発揮されたと考える。起業することにより統合失調症の人々と寝食を共にして、過疎化する地域を盛り上げ困難と戦いながら、非難や周囲との摩擦を直視して、ユーモア、エスプリ等で対応し克服されている。「誤作動」伊藤氏との掛け合い講話は、私たちの喝采を誘うマジックである。諸外国との交流もあり、豊富な知識と経験は多くの書籍に表されている。「当事者研究」「自分の言葉を掴まえる」等は福祉を考える上で貴重な参考となった。「健常者は、異常者である」との見解は含蓄のある箴言だ。私を奮起させる十分な講話であった。

(川口 満)

③ 精神障害(統合失調症)の方たちの生き辛さを初めて、聞きました。大地のメンバーとは違うなど正直、感じながらも、講義(当事者の声)を聞いていました。その中で「研究」という言葉がとても面白く、言葉で表現できない大地メンバーの「声」、「気持ち」を一緒に研究することで、障がい理由にして、あきらめていた事や、困難だと思っていた事に対して、楽しく前向きにすすめるのでは?と感じました。

(齊藤美佐子)

④ “病氣”という言葉はどうしてもネガティブな印象が先立ってしまうが、今回、研修に来ていただいた向谷地さんと当事者の伊藤さん達のお話は、そんなマイナスのイメージを抱かせないものだった。“当事者研究”を経て、自分がどのような症状があり、どういう時にどうなるのかを自分で自覚し、その症状と上手く付き合っているべてるの家は一つの理想の形ではないかと思った。現代日本において、まずは薬で病気を治すということが常識となっているが、べてるの家で薬は本当に必要としている人のみが使うという。まずは自分の状況を自分が“受け入れる”ことが大切という話は、簡単なようでとても難しいことだと思った。“認めたくない”人が多い世の中で、“認められる・受け入れられる”ことのできる世の中になっていければ良いと思った。

(梅田由有)



# ドイツの心 古賀敦子 ハンガリーの鼓動 日南由紀子 Flute & Piano Duo Recital

古賀はパリ国立高等音楽院を満場一致の一等賞で卒業。マリア・カナルス他、様々な国際コンクールで優勝・入賞を繰り返し、ヨーロッパ各地の音楽祭でもテレビ・ラジオ出演する。ドイツのマグデブルグ交響楽団に籍を置きつつソリストとして、室内楽奏者として各国で活躍中。



日南はハンガリー国立リスト音楽院に在学中にソリスト抜擢され、その演奏旅行で、「その音は多種多様なドラマを演じている」と絶賛される。ウィーン国際コンクール皮切りに優勝を繰り返し、ヨーロッパ各国でソロ室内楽で活躍。カーネギーホールでアメリカデビューも果たす。

## プログラム

- ベートーベン『セレナーデ作品41』
- F.ボルトン『カルメン幻想曲』
- B.ゴダール『3つの小品組曲』
- S.プロコフィエフ『ソナタ』

**桐朋学園高校で共演を夢見た二人が、世界を超えて名古屋で共演!**

## 名古屋YWCAビッグスペース

名古屋市中区新栄町2-3・地下鉄「栄」東5番出口より東へ徒歩2分  
**2017年8月4日(金) 18時開場 18時半開演**

主催:愛実の会・名古屋ダルクチャリティー 後援:みどりファミリー  
お申し込み電話:090 1754 0104(島) 又は 052 693 5897(愛実の会)  
メールでのお申し込み: [info@aminokai.com](mailto:info@aminokai.com) 入場料 1500円



【NPO愛実の会 寄付者名(順不同・敬称略) 2017年月3月1日～6月30日】

★寄付金

小島 真一 山本 茂一 安藤 晋 志村 澄江 河内 常男 渡部 幸子  
武井 陽一 伊藤 裕子 小松 康弘 藤井 克彦 加藤 和子 大淵 哲也  
牛嶋 敦子 山崎 京子 阿部 健二 佐野 都吾 佐野 美穂 早川久美子  
安藤眞知子 島 しづ子(複数回)  
大澤 剛平・慶子 青本 光子・和彦 土屋 順子・久美子  
教団)金城教会福祉社会委員会 教団)西尾教会婦人会 教団)名古屋中央教会  
知多奥田キリスト教センター 教団)愛知教会女性の会 教団)豊明新生教会  
教団)岡崎教会こどもの教会 教団)刈谷教会CS 学校法人 金城学院  
学校法人 丸岡栄光学園緑幼稚園

★紙風船夢づくり

中森 由哉 小島 真一 櫻井 直人 盛 秀次 五十嵐 靖 水島 トミ子  
ご協力ありがとうございました。

寄付のお願い

年間目標額 320万円

- \*人形劇団 紙風船の活動のため(20万円)
- \*愛実の会の活動のため
- \*移転に伴う借入金返済のため(300万円) 2017年度完済予定

振込書を同封いたしました。

紙風船への寄付は、通信欄に「紙風船の活動のため」と書き添えていただきますようお願いいたします。

皆様からお寄せいただいた想いを各活動に反映し、大切に活用させていただきます。

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名 (順不同・敬称略)】

★寄付金

中森 由哉(複数回) 吉谷 尚之(複数回) 松下 智恵子(複数回) 亀田 隆子  
みどりファミリー(複数回) 教団)名古屋桜山教会

★物品寄付

原田 恵子 宮嶋 映子



ご協力ありがとうございました。

## 【ボランティアで協力いただいた方 (順不同・敬称略)】

紙風船 中森 由哉 渡辺 志織 永田 友香 奥平 あい 大野 智恵  
南 寿樹 藤本紀代子

ご協力ありがとうございました。

## 非常通報装置設置しました

この度、「障害福祉サービス事業所等施設整備費補助金」を活用し、非常通報装置(110番非常通報装置)ならびに玄関付近への人感センサーの設置を行いました。

整備補助事業自体は昨年度の事業であり、今年の3月に整備を完了したところです。

昨年7月26日に神奈川・相模原で起きた痛ましい事件をきっかけに、障がい福祉事業所の安全対策について愛実の会でも考え始めたところで補助金の活用ができました。

この他にも、さすまたやセンサーライト、民間警備会社への緊急通報装置の設置、日中の施錠などを行っています。

この事件は戦後の日本で発生した殺人事件としては犠牲者の数が最も多く、戦後最悪の大量殺人事件として日本社会に大きな衝撃を与えました。

障がい者に世の光が当たるよう、障がい者が世の光となる社会が来るよう、私たちは切に願っていますが、そのような社会はまだ遠くにあるのかも知れません。

愛実の会では理念の中で、「すべての人が生きやすい社会を作っていく」とうたっています。

障がい者だけでなく、多くの弱者も含めて誰もが安心して暮らし、暴力や乱暴の恐怖におののくことがなくなるよう、これからも取り組んでいきたいと思えます。



↑非常通報装置



↓センサー受信機  
及び人感センサー



## 【所在地・連絡先】

### 特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24  
TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889  
E-mail info@aminokai.com  
ホームページ http://npoaminokai.wixsite.com/aminokai

または

## 【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 座番号 00850-6-187490  
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 101,000円 何口でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・土地建物改修費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形劇制作費、公演活動に関する費用)